

中間報告書

令和 6年 9月 5日現在

1 事業名 竹林のスコレー、倉敷穂井田竹灯籠まつりプロジェクト

2 実施期間 令和6年4月26日～令和7年2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

竹林の整備、竹資材の農業への活用と竹を用いた伝統行事の創生による地域の魅力向上

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

- ・竹灯籠づくりワークショップ 2回
- ・大地の再生講座（耕作放棄地の開拓と竹林の間伐）2回
- ・スコレーパーク（竹灯籠まつり会場）の整備

<今後、実施すること>

- ・竹灯籠づくりワークショップ 2回
- ・大地の再生講座（耕作放棄地の開拓と竹林の間伐）2回
- ・スコレーパークの整備、
- ・竹灯籠まつりの開催
- ・竹灯籠まつり写真コンテスト
- ・竹炭づくりと畑への竹炭漉き込み

※いずれもボランティア、近隣学校、他NPO、穂井田まちづくり協議会と連携して実施予定

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

評価指標	評価方法	目標	実績
1. 来場者数	人数	1,000人	未実施
2. 制作する竹灯籠	本数	3,000本	20本
3. 制作運営に関わるボランティア人数	人数	100人	85人 (9月5日時点)
4. 整備する竹林や耕作放棄地の面積	平方メートル	4,000㎡	約3,200㎡

今年度の竹灯籠まつりの会場となるスコレーパークの建設が進んでいる。年度初めは雑木と蔓草が生い茂った荒地であった場所を、たくさんのボランティアのご協力の下で開墾し、日照の回復、水と風の流れのある場所にすることができた。また、中学生の夏ボラで開拓や整備の作業に参加してくれた学生もいた。スコレーパークの整地が完了すれば果樹や花壇、野菜を植えてエディブルガーデンとして活用し、竹林のスコレー利用者だけではなく多世代交流拠点として活用できる。

④ 課題等

- ・マンパワーの確保について

竹灯籠まつりの期日が近くなり、これから竹の間伐、灯籠づくりの作業が本格的に始まる。その作業と会場となるスコレーパークの開拓作業を並行して行うため、より多くのマンパワーの確保が求められる。また竹灯籠まつりの会場規模も大きくなるため、昨年度より多くの方々に手伝っていただく必要がある。ボランティアの募集、作業人員を雇用する資金調達が

課題である。

・資金の確保について

今年度は現在6社の協賛をいただいている。また、祭りへの出店は18店舗と昨年の2倍となっている。次年度の自走に向けて、今年度の行事を盛会とし、開催後すぐに協賛を募るのが効果的だと考える。

4 参考事項・資料
(写真)



5 次年度以後の事業展開

次年度の事業展開	事業展開の方向性 (以下のチェック欄のいずれかに「✓」を記入してください。)
	<input checked="" type="checkbox"/> 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 <input type="checkbox"/> 地域づくり事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 <input type="checkbox"/> その他 ()
	中期的な目標を実現させるための具体的な事業の内容 今年度は予定通りスコレーパークを整備させる。次年度以降は、その内容と質を高めていく。具体的には、エディブルガーデンとして果樹園と花壇や畑を部分的に作り、動物飼育を行う。虫を呼び込み、棲息させるプロジェクトも動き出している。今後も、生物多様性を高めつつ自然の美しさ、四季の移ろいを感じられる行事開催し、関係人口の創出に寄与していく。